

年 組 名前：

昭和・押原小、押原中の児童生徒が、8日に5年ぶりに開かれる町ふるさとふれあい祭りに向けて準備を進めている。押原小6年生は平和を祈るハトのマグネットを製作。押原中学生会はダンスフェスティバルの打ち合わせに余念がない。

ふれあい祭りは押原公園で開催。例年、押原小が特設ブースを出展し、押原中がダンスフェスを運営してきた。過去4年間は台風や新型コロナウイルスの感染拡大で中止が続いていた。5年ぶりの祭りを盛り上げようと、6年生54人は総合学習の時間で平和について学んだことを生かし、平和の象徴とされるハトをモチーフにしたマグネットの販売を企画。陶器で作ったハトの国旗をイメージして青と黄色で色付けした。

「いつか世界が笑顔でいっぱいになりますように」など手書きのメッセージを添え、会場で2個セット1000円で販売する。収益金は、困っている世界の子どもたちのために寄付する

押原小中生 祭り盛り上げ

(2023年10月7日付 山梨日日新聞 18面)

問1

押原小中生が準備を進めている、お祭りの名称を教えてください。

.....

問2

押原小の児童は、なにを販売しますか。

- ・6年生 →
- ・5年生 →
- ・3年生 →

問3

押原小6年の児童が、「ハト」を選んだ理由を教えてください。

.....

予定。内藤綾乃さんは「これからも平和な日本であってほしいと願いを込めた」、渡辺美空さんは「ウクライナの子どもたちのナスを販売するなど、各学年

マグネット製作、催し運営：あす本番

準備を進めている。押原中は生徒会役員が中心となり、5年生は新米、3年生は特産品など、地域のダンスグループ9チームが出演するステージの進行などを確認している。司会を務める3年小沢歩夢さんは「5年ぶりの開催。来年につながるように盛り上げたい」と意気込んでいる。

〈桑原久美子〉